

【事業報告書】

HKFA 審判委員会 女子部

事業名： 北海道女子審判員研修会
開催日時： 2020年10月18日（日） ・ 10月24日（土）
場所： 浜厚真野原公園サッカー場
スタッフ： 勝谷 忍（S2INS）・長浜 杏名（S3INS）
参加者： 女子アクティブレフリー 2級2名
女子ユース審判員 3級1名 ・ 4級 9名 計12名参加



活動内容 JFA U-15 女子サッカーリーグ 2020 北海道 第6節・第7節

10月18日（日）10：00 クラブフィールズ・リンダ VS ASC 北海道レディース
12：00 十勝リトルガールズU-15 VS BELINDA 旭川
14：00 北海道リラ・コンサドーレ VS ROCCAFORTE TOKACHI U-15
10月24日（土）10：00 北海道リラ・コンサドーレ VS ASC 北海道レディース
12：00 札幌グラシア VS ROCCAFORTE TOKACHI U-15
14：00 BELINDA 旭川 VS クラブフィールズ・リンダ



<主審コメント>

今シーズンはじめての11人制の審判でしかも主審だったのでかなり緊張しました。しかし今までわからなかった、どう動けば見やすい位置に行けるのか、A1やA2とのコミュニケーションの大切さ、予想外のことが起こったときの対処の仕方を教えてもらうことができとても勉強になりました。

今はまだ3級ですが2級取得のためにこれからも頑張っていきたいと思います。

<主審コメント>

今回、副審と主審をやってみていろんな体験をすることが出来ました。

最初は40分ハーフでめっちゃめっちゃ長いと思ったけどそんなことはなくて、前後半でも試合の展開だったり流れだったり審判しているとあっという間だなと思いました。滅多に主審は出来ないけど、貴重な経験をして選手以外にも、審判をもっとやろうと思いましたし、3級をとってみたいと思いました。今回、貴重な機会に審判をやらしてもらってありがとうございました。





<主審コメント>

2日間U-15リーグで審判をやらせて頂きありがとうございました。

1日目の副審ではいつもは気にしていなかった細かい動きなどを指導していただきとても勉強になりました。副審は最終ラインに合わせて動きながらボールがコートの外に出た時にどちらのチームが最後に触ったのかを見て判

断し旗をあげなければいけないのでとても大変でした。2日目では初めて中学生の公式戦で主審をやらせて頂いたのですが改めて主審の難しさを感じる事が出来ました。広い視野で試合を見る為に身体の向きや見やすいポジションを取らなければならない事など試合の中で考えて動かなければならない事が多く大変でした。また、主審をやることによって副審がどう動いてくれるとやりやすいのかを知ることが出来たのでこの経験を活かして行きたいと思います。他の審判員の皆さんに比べてまだまだ足りない事が沢山あるので経験を積み重ねて審判員の皆さんのような審判が出来るようになりたいと思います。



<チーム指導者より>

女子審判員 TRG 会に参加して

10月18日(日)・24日(土)浜厚真野原公園にて行われた U15 女子サッカーリーグの審判員として Teine EGZAS FC の選手たちを参加させていただきました。

当チームではサッカールール理解と審判員に対してのレスペクト精神に繋がるよう入団選手全員に審判資格の取得をお願いしており、トレーニングマッチや各種大会参加時、選手としての活動と合わせ審判活動も積極的に行っております。

今回は公式大会にも関わらず、U15 年代の選手に主審や副審を経験させていただき、さらには取得したばかりの選手に対しても丁寧に指導して下さり大変感謝しております。

同年代チームの試合で主審や副審を務めることに大きな戸惑いや緊張があった様ですが、各試合の展開や審判に求められる技術を体験しながら学ぶことができた様に感じます。

2021 年から始まる女子プロサッカー WE リーグにより、女子選手にとって大好きなサッカーの大きな目標として、「プロサッカー選手」という選択肢が明確になることと共に、女子選手人口が増えること、メジャーなスポーツという意識転換にも期待しております。

その中でサッカーに関わるということが、選手としてプレーすることだけではなく、指導者や審判員など夢の幅が広がってくれればと思います。

大きな夢ですが、いつの日か当チームに関わった選手から、WE リーグで活躍するプロ選手や主審を務めるような審判員が生まれることを願っております。

チームの活動は、4 年目とまだまだ浅いのですが、夢は大きく持ち続けチーム一丸となって活動を続けていきたいと思ひます。

重複しますが、今回この様な貴重な機会を与えていただき、誠にありがとうございました。

Teine EGZAS FC 代表 有賀 新一



<インストラクター> 長浜 杏名 氏

女子中学生選手の試合を女子中学生が審判することができる日が来るとは考えてもおらずとても感激した2日間でした。

初めて審判をする子が大半を占めており戸惑いもあったとは思いますが、みんなとても明るく元気いっばいにその状況を楽しんでくれたことがなによりです。

2日目の最終試合では主審・副審・第4審判まで全てが中学生でこの2日間の集大成とも言える試合となり、彼女たちがとても頼もしく感じました。

今回の活動を通して少しでも審判に興味を持ち、継続して審判をやってみたいという子が増え、来たる2023年のインターハイ北海道大会に向けて仲間の輪を広げていくことができれば嬉しいです。

最後となりますが、選手を快く送り出してくださったチーム関係者の皆様および保護者の皆様、大会関係者の皆様、今回の活動にご理解ご協力頂いた各チームの皆様に心よりお礼申し上げます。

<まとめ> HKFA 審判委員会女子部 勝谷 忍

はじめに、今回の実技研修会開催にあたり遠路ご協力くださいました保護者の皆様・チーム関係者・大会関係者すべての皆様にこの場をお借りして深謝申し上げます。

今シーズン最後の大会！！研修会ゴールは審判を経験して新しい発見や楽しさを感じてもらうこと。普段なかなか審判をする機会が無い12名の女子審判員が参加してくれました。

フィールドインスペクションをはじめ、実際に笛を吹く練習やフラッグを持ってプラクティカルトレーニングをして実践に入りました。「公式戦は初めてです」と最初は緊張していたユース審判員たちも次第に理解を深め、堂々と判定して80分間寒いながらも走り切ってくれました。

女子の大会を同じ年代の女子レフリーでチームを組めたことも感動でしたが、最後まで一生懸命に取り組んでくれたことに心から感謝申し上げたいと思います。

近い将来、北海道を代表する審判員・選手となってフィールドに立ち輝く日を期待しています。最後に今回急なアクシデントで急遽インストラクターとして稼働してくれた長浜S2級審判員に心より御礼申し上げます。

今後も北海道女子サッカー界の発展と皆様の益々のご活躍を祈念して引き続き変わらぬご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。